

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	○事業所と地域のつきあい 地域の方々との交流を心がけてはいるが、災害時等に地域からの支援をお願いできるまでには至っていない。	年に2回の消防訓練等の際、近隣の方々に一名でも多く参加協力していただけるようにする。	・日頃から交流の場を持っていくことを心がけ、行事への招待や清掃の参加を継続していく ・火災や防災の話や常日頃から会話の中で話し、協力を仰いでいく ・お互いに協力し合える関係作りをしていく	12カ月
2	6(5)	○身体拘束をしないケアの実践 ホームの暮らしには慣れておられるが各ユニットに1名ずつ徘徊される入居者様がおられる。歩行が安定しており歩くスピードも早いので事故に繋がるリスクが高い。	玄関の鍵を開錠する工夫をし、施錠時間を短くしていく。	・玄関にセンサーのチャイムを設置する ・玄関をオープンにし、日光浴の時間を作る ・開錠している際、入居者様が徘徊を始めた際は傍に寄り添って居なくなるのを未然に防ぐ ・開錠のできた時間の記録を付けていく (職員の意識付けのため)	12カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。